

小学校 3 年

大きな数の大小のくらべ方を考えよう

東大阪市立布施小学校

教科

算数

単元名

1 万より大きな数

本時のねらい

- ・一億までの数の大小比較ができる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・授業の中で計画立てて学習に向かうために、Google Classroom を使って本時の流れを提示する。
- ・Google スプレッドシートを活用し、児童の進捗状況を把握し、適宜指導していく。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ Google Classroom
- ・ Google スライド
- ・ Google スプレッドシート
- ・ 大型提示装置

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5 分)	・本時のめあてを確認する。 大きな数の大小のくらべ方を考えよう。 ・自分の学習方法（誰と・何を使って学習していくのか）を決めて、ノートに書く。 ・本時の流れを、Classroom のストリームを見て確認する。 【写真 1】	・ストリームで授業の流れを視覚的に捉えさせ、見通しをもつ。
展開 (3 5 分)	・不等号を知り、3 位数の数で大小比較をする。（前段） 1 2 3 □ 2 1 3、1 2 ● □ 1 3 ● ・5 位数以上の数の大小比較の仕方を考える。（後段） ・スライドで提示されている課題に取り組む。【写真 2】 ・問題を解いた児童は、スプレッドシートで終わった問題にチェックを入れる。【写真 3】 ・自分に合った学習方法で、発展課題に取り組む。	・スライドの問題を解きながら、自分のペースで学習することができる。 ・スプレッドシートで児童の進捗状況を把握し、適宜指導していく。
まとめ (5 分)	・今日のめあてを達成できたのか、自分の学習方法はどうかの振り返り。	

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真 1】Classroom で本時の流れを確認している場面



【写真 2】スライドの問題を見て、解いている場面



【写真 3】スプレッドシートで終わった問題をチェックしている場面

児童生徒の反応や変容

導入・前段の展開で、今回の授業で必要となる考え方を全体で共有した後は、自分たちのペースで学習を始めた。「誰と学ぶのか」という学習形態についても各自で決めているので、友だちと学習する児童、一人で黙々と取り組む児童、困ったら教員に聞きに行く児童とそれぞれの形態が見られた。また、スプレッドシートでお互いの進捗状況が確認できるため、誰と学ぶかを工夫して考えている姿も見られた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

ストリームを通して、本時の学習の流れ・めあて・ループリックを示しているのので、子どもたちも目標と見通しをもって学習に取り組むことができた。スライドでは問題を提示するだけでなく、課題を早く解き終えた児童に向けて、オススメの学習課題を提示し、さらに学習内容の定着を図れるようにした。また、子どもたちの進捗状況をスプレッドシートで把握することで、困り感を感じている児童により丁寧な支援を行うことができた。